

新宮山彦ぐるーぶ第1962回 行仙宿の巡回整備・カメラ修理など

◇実施日2018年01月14日(日) 晴れ
◇参加者：梶野照雄。

1名。

昨年12月23日に行仙宿の迎春準備に行った際、監視カメラが動作していないようだったので、ケースを開けて電源をチェックしたところ、電圧が5Vのはずが2.4Vに下がっていた。電源の不良と思い、手持ちのパーツで電源を作り交換に行つて、おまけでストローブの点火用に小さく切った廃材・段ボール箱2ケースを持って上がる事にした。

交換は短時間で出来るし、R169が必ず凍結しているので、日が昇ってから出発した。川上村から道路に積雪が現れ、前鬼口を過ぎて、部分的に積雪が残っていた。



桜の木に霧氷



積雪の池神社



積雪の登山口到着

池原でトイレ休憩、スポーツ公園の桜に霧氷の花が咲き、陽に当たって溶け落ちた氷が、桜吹雪のように道路に舞っていた。



登山口の水場



荷台カバーに氷が



第2ベンチで

池原から浦向までの道路には、積雪はなかったが、池神社の境内は真っ白、明神池も3分の一ほどが結氷していた。

R225の谷筋を離れて登りだしてしばらくすると、路面が白くなり始めた。積雪は少なく5cmほどしか無い。日の良く当たる南向きの道路は、アスファルト面が出ている。この状態なら4WDでなくても、スタッドレスの2駆でも十分登ることができる。

林道に入っても積雪している所は少なく、登山口近くになつてようやく全面の雪道となる。今年の1月17日には20cmを超える積雪があったので、今年の積雪は半分以下である。

積んで来たタイヤチェーンも使うことなく登山口に到着。靴を履き替えてモノレールを降ろしに上がる。登山口の水場の水は良く流れていた。

モノレールのエンジン部分のカバーを外してエンジン始動。プレヒート10秒では始動しなかったので、5秒ほど追加、セルを回すと3秒ほどでエンジンが始動した。暖機運転をしながらシートと荷台のカバーを外す。

荷台カバーに置かれた輪切り丸太が、溜まっていた水が凍り

付いて、カバーの布から外れない。力任せに引っ張ると布が破れそうなので、ゆっくりと慎重に剥がしたので5分掛かった。登山口で荷物を積み、レバーに手をかけて、前方注視で登る。レール上に障害はなく順調に終点着。終点の土留土嚢がレール側に飛び出していて、エンジン部の右下が引っ掛かり、土嚢が破けた。



行仙宿到着



小屋の西側



水場への途中で

行仙宿までも積雪は少なく、平均5cmで深い所で15cmだった。誰も歩いておらず、氷になっている所も無かったので、アイゼンも不要だった。行仙宿に到着、小屋の南側に雪はない。北側には雪が残っていた。

管理棟と倉庫を開けて、脚立を小屋に運ぶ。玄関の温度計はちょうど零度、小屋内はプラス1℃だった。じっとしていると少し寒いので、ストーブに火を入れる。火がよく燃えだして室温が4℃まで上がったので昼食にする。

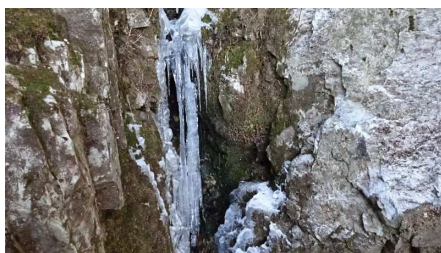
お湯を沸かそうとしたが水が無い。仕方なく管理棟からペットボトルを出してくる。ヤカンに水を入れた途端にヤカンの中

とペットボトルの水がシャーベット状になった。氷点下の状況下で保管されていたので、過冷却の状態だったようだ。昼食後、監視カメラの修理を始めた。ケースを開けて電圧を計ってみたら、あれっ！ゼロボルト？とうとう潰れたか、と思いき外そうとしていると、バッテリーからコードの片方が端子から外れているのが目に入った。ねじ込みが不完全だったようだ。確実に端子にネジ止めして、再び電圧を計ってみるとちゃんと5V出ている、監視カメラの修理はこれで完了。電源を交換する手間がなくなったので、管理棟、行仙宿小屋、行者堂の注連飾りを外して小屋内に、発電機を動かして掃除機で小屋内清掃。玄関前の吹きだまりで小鳥の死骸を発見、焼却炉で焼却を試みるが、焼却炉に入れた枯れ枝が雪で湿っているのか、全く燃え上がらずそのままにした。発電機を止め、管理棟と物置を施錠して水場へ降りた。水場径は日陰が多いので、雪が結構残っている。木の根や岩もあるの

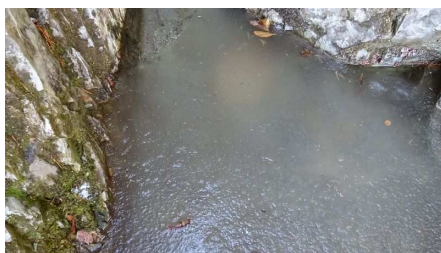
で、滑らないようゆっくり降りた。打ち込まれたパイプの上にキノコ状の氷があった。つまんで引き上げて見ると、パイプに溜まっていた水が棒状の氷になった物が出てきた。



水場着



ツララがたくさん



水面は結氷

水場が近くなっても水音が聞こえない、涸れているのか？と思
ったが、そうではなかった。太いツララが水面近くまで下がって
いて、水はそれを伝って落ちているので、滝状態にはならず、水
音も聞こえなかった。溜まっている水の表面は結氷していた。
手前の氷を割って、落ち葉を掃除した。氷の厚さは1cm位で、
流れがあるので手前の氷は特に薄かった。
小屋に戻って、残っていたお湯でお茶を入れて休憩し、下山
した。補給路の状態は登って来た時と変わらず、R169の雪は、
融雪剤のお陰ですべて消えていた。



注連飾りは外した

笠捨山も雪が少ない

浦向の雪は残っていた

行動タイム

堺07:00(橋本・五條経由)→09:45池原・スポーツ公園09:53→
10:34補給路登30口10:57→11:36行仙宿13:35→13:54水場→
14:18行仙宿14:25→15:18登30口。

(記:梶野)